

GIGAスクール構想を契機とした 初等中等教育改革について

令和3年4月20日
文部科学省



文部科学省

GIGAスクール構想が目指す学びのDX

～1人1台端末・高速大容量ネットワークが広げる学びの可能性～

中山間地域の学校における
遠隔授業の活用



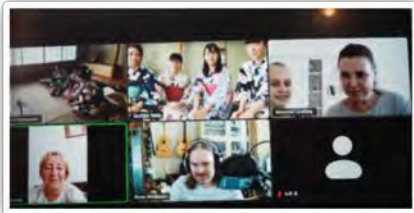
端末を「文房具」としてフル活用した
学校教育活動の展開

- 学習の基盤となる情報活用能力の育成
- 動画や音声も活用し、児童生徒の興味を喚起、理解促進
- 情報の収集・分析、まとめ・表現などによる探究的な学習の効果的な推進
- 障害のある児童生徒の障害の特性に応じたきめ細かな指導・支援の充実など多様なニーズへの対応
- 板書や採点・集計の効率化等を通じた学校の働き方改革

不登校児童生徒に対する
学習指導



海外の学校との交流学习



学習者用デジタル教科書の活用



病気療養児に対する学習指導



大学や企業等と連携した学習



様々なデジタル教材の活用



学習履歴等を活用したきめ細かい
指導の充実や学習の改善



地域の機関や外部人材と
連携した学習



臨時休業時における
オンラインを含む家庭学習



発達段階に応じて**遠隔・オンライン教育**も積極的に活用

**全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと、協働的な学びを実現**

GIGAスクール構想の実現に向けたICT環境整備の状況

「GIGAスクール構想の実現」に向けたICT環境整備について、全国の端末・ネットワークの整備状況を調査。
(令和3年3月末時点の状況(速報値))

※調査対象:全国の公立学校(小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校)

1. 端末の整備状況について

(1) 義務教育段階

- 全学校設置者(1,812自治体等)のうち、**97.6%(1,769自治体等)**が、令和2年度内に納品を完了する見込み
- 一方、**2.4%(43自治体等)**が、令和2年度内に納品が完了しない見込み

(2) 高等学校段階

- 全学校設置者(47自治体)のうち、**42自治体**が1人1台の整備を目標として取組を進めている
- そのうち、**12自治体**が令和2年度内に整備を完了する予定

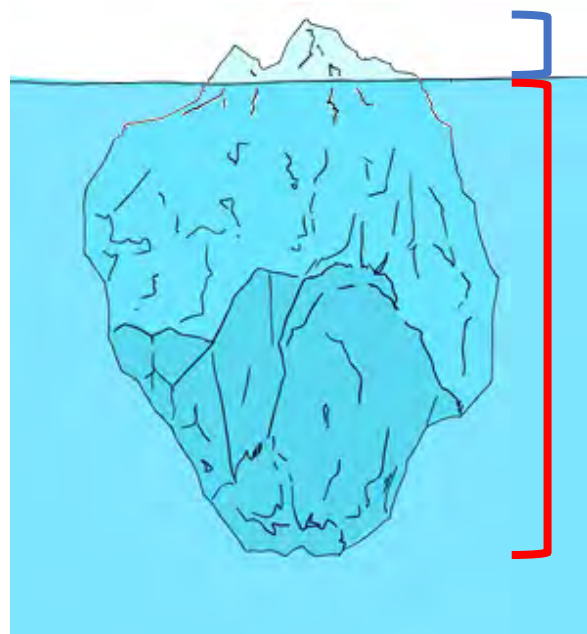
2. 校内ネットワークの整備状況について

- 全ての学校(32,228校)のうち、**97.9%(31,538校)**が本年4月末までに供用開始の予定

全ての教師が1人1台端末を活用した実践を行うために

すべての教育委員会・学校・教師が、新学習指導要領の趣旨の実現に資するよう、
端末・ネットワークを活用し、児童生徒の資質・能力の育成を図ることが必要。

現状（イメージ）



1人1台端末環境での実践に
ある程度蓄積がある自治体 **約4%**
(令和2年9月までに整備済み：4.4%)

令和3年度から本格的に
1人1台端末環境での
実践を行う自治体 **約96%**

・令和2年9月～12月に整備：18.2%
・令和3年1月～2月に整備：27.5%
・令和3年3月に整備：47.5%
・令和2年度内は未整備：2.4%

この部分の底上げが必須
(全体を水面より上に押し上げて行く)

※同時双方向オンライン指導を実施した
学校設置者は15%（令和2年6月時点）

取組の視点

- 多くの学校・教師にとって、普段の教室での1人1台端末の“普段使い”は、初めての試み。最初からパーフェクトということではなく、試行錯誤が大切
- 各教育委員会は、GIGAに関する情報発信や教員研修を実施して学校現場をサポートすることが大切
- 文部科学省は、地域の実態を把握しつつ、教員研修や支援人材の充実を図るとともに、必要な支援策を講じる
- 併せて、情報交換プラットフォームの構築等を通じて、自治体間の横のつながりを強化し、お互いに助け合い、協働・自走できる体制を構築

「GIGA StuDX 推進チーム」による支援活動の強化

令和3年4月現在

GIGAスクール構想の実現に向けて、1人1台端末及び高速大容量通信ネットワーク環境の積極的な活用を推進するため、**文部科学省に設置した「GIGA StuDX※ 推進チーム」の体制を強化し、教育活動において参考となる事例の発信、課題の共有等を通じて、全国の教育委員会・学校に対する指導面での支援活動を本格的に展開**します。

GIGA StuDX 推進チーム



- 令和3年4月より、全国から **8名**の教師を新たに増員
- 地域別に担当を付け、**担当地域の教育委員会等と協働のためのネットワーク**を構築
 - ▶ **学校・地域コミュニティの自走を支援**
- **優良事例や現場の悩み・課題、実情**などを汲み取り、文科省の政策に反映
- 事務局は、**情報教育・外国語教育課、教育課程課、初等中等教育企画課**

GIGA StuDX 推進チームの活動



現場とのネットワークの構築



担当地域を中心に全国の教育現場の情報を収集・発信
教育委員会等と日常的にやり取りを行う



情報交換プラットフォームの提供



地域ブロックや教科等のテーマ別に全国の教育委員会等の担当者が有益な情報交換を行い知見を深める場を構築（オンラインも積極的に活用）



StuDX Styleからの情報発信



特設ホームページ「StuDX Style」で活用事例やインタビューなどの有用な情報を随時発信



メールマガジンの配信



StuDXメールマガジンを開設し、ICT利活用を推進する教育委員会等の担当者や学校教員に有益な情報を定期配信